

徳山ダム建設事業に関する報告

平成17年11月25日

独立行政法人水資源機構 中部支社

目 次

・ 工程管理	1～2
・ 山林公有地化事業について	3～4
・ 集団移転地文殊地区等について	5～6
・ 徳山ダム事業用地内の廃棄物について	7～8
・ 徳山ダムモニタリング部会の設置について	9～10
・ 揖斐川水源地域ビジョン策定会議について	11

． 工程管理

工事の現況

- ・ 堤体盛立については、11月15日にコア、フィルタの盛立完了。11月末にはロックの盛立を完了する予定。
- ・ 洪水吐きコンクリート打設は、導流部及び減勢工部等を施工中。平成17年度内に完了する予定。
- ・ 付替道路工事(国道417号線、県道藤橋・根尾線)については、未供用区間12.5kmの全区間において工事を全面展開中。平成18年8月頃に概成する予定。



ダム堤体



洪水吐き



貯水池横断橋（6号橋）

主要工事工程表

- ・堤体工事としては、堤体盛立完了後、堤頂設備工に着手するとともに、引き続き、基礎処理工等を施工予定。
- ・洪水吐き工事は、コンクリート打設と並行し、引き続き、管理用橋梁、ゲート操作室等を順次施工予定。
- ・その他、平成18年秋の試験湛水開始及び平成19年度末の事業完了に向けて、放流設備・管理用道路・通信・警報設備等の管理設備及び付替道路工事等の進捗を図って行く。

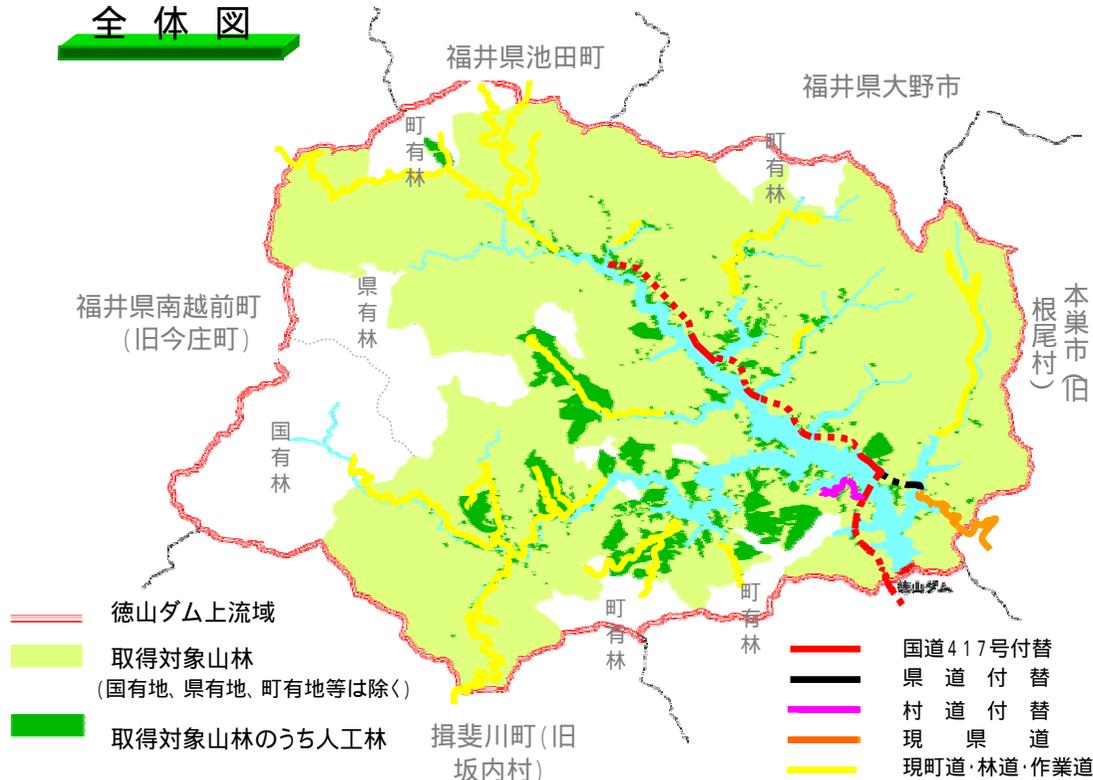
工事種別		平成17年度					平成18年度					平成19年度					平成20年度						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
堤体工事	基礎処理		■																				
	盛立	コア・フィルタ	■																				
		ロック	■																				
	堤頂設備							■															
洪水吐き工事	コンクリート打設		■																				
	常用洪水吐き・非常用洪水吐きゲート設備		■																				
	管理用橋梁・ゲート操作室							■															
放流設備	選択取水設備		■																				
	利水放流設備		■																				
	水位低下用放流設備		■																				
管理設備							■																
国道・県道付替工事							■																
試験湛水												■											
管理移行																	■						

山林公有地化事業について

「徳山ダム上流域の公有地化事業に関する基本協定書」締結

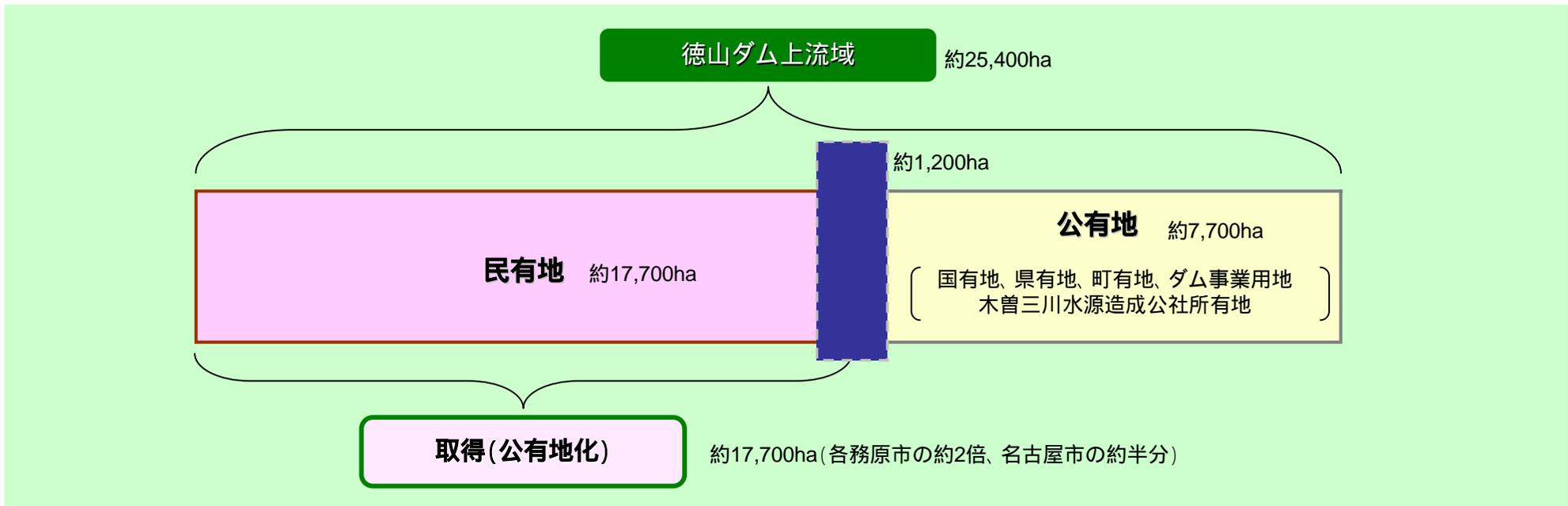
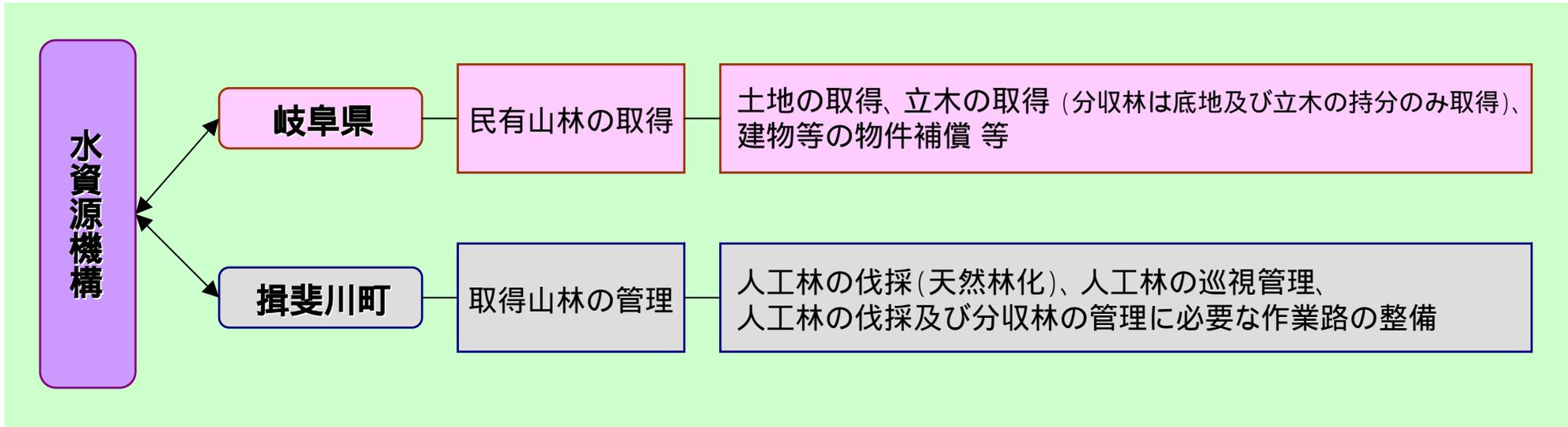
- 平成17年10月31日に、岐阜県、揖斐川町及び水資源機構の三者間で山林公有地化事業に関する基本協定を締結した。
- 事業の対象範囲は、徳山ダム上流域254km²のうち、国有地、県有地、町有地等を除く約180km²である。
- 山林公有地化事業の事業主体は、私有山林の取得が岐阜県、取得山林の管理が揖斐川町であり、これらに要する費用をダム事業費で負担する。
- 岐阜県主催の山林公有地化事業に関する住民説明会が11月13日と11月20日に開催された。

全体図



日時：平成17年10月31日（月）
場所：岐阜県庁 4階 特別会議室

公有地化事業の概要



・ 集団移転地文殊地区等について

集団移転地文殊地区地盤沈下対策部外の現状報告

- ・ 文殊団地宅地問題対策協議会は、住民の方々による文殊団地内公園の掘削調査の結果を踏まえ、問題解決への協力を要請する陳情書を7月29日に本巢市へ提出。
- ・ 本巢市は、この陳情書をうけて、8月10日に徳山ダム建設所長、8月18日に水資源機構理事長及び中部支社長に移転住民の1日も早い安心した生活環境の整備を図ることを望む旨の要望書を提出。
- ・ 機構は、これまでに文殊地区についての地質調査を行うとともに、専門家から構成する「集団移転地文殊地区の宅地地盤に関する検討会」により宅地地盤の評価を頂いてきている。この評価、住民の方々による掘削調査、施工業者から提出された調査結果報告書及び検討会委員による見解を総合的に踏まえ、この要望書に対して以下の方針で対応を行う旨、11月4日に本巢市に回答を提出。
- ・ 水資源機構としては、1日も早い問題解決に向けて、機構の対応方針を住民の方々にご理解いただけるよう誠意をもって協議を継続している。

〔機構の対応方針〕

補修工事の実施にあたり、損傷の申し出のあるお宅について、事前に建物などの調査を行い専門家により、建物と地盤との関係を分析したうえで、地盤が原因とみられる損傷について、補修方法を検討し、所有者の方と補修方法について相談する。

補修方法について、住民の方々の了解が得られた後に、機構は補修工事を実施する。

初回の補修工事実施後に、新たに損傷が発見された場合、補修工事完成後から10年間は、上記と同様の対応を実施する。

以上について、誠意を持って住民の方々と協議し、ご理解を得て参りたい。

集団移転地網代地区の現状報告

- 集団移転地網代地区について、建物等（家屋、外構等）の不具合の状況と宅地地盤の関係を把握するため、「集団移転地文殊地区の宅地地盤に関する検討会」委員の指導・助言を得つつ、家屋建物等不具合の現地確認調査及び家屋基礎のレベル調査を実施した。
- 今後、この調査結果を基に対処方針を検討し、早期に住民への説明を行う予定。

家屋建物及び基礎等の不具合の現地確認調査を対象家屋 85 戸に対して 5 月より実施し、8 月に完了した。

建物基礎の傾斜を確認するためのレベル調査を対象家屋 85 戸に対して 9 月より実施し、10 月に完了した。

今後、この調査結果等を基に「集団移転地文殊地区の宅地地盤に関する検討会」委員の指導・助言を得つつ、機構の対応方針を確定して、早期に住民に対して説明を行っていく。



家屋不具合の現地確認調査



家屋基礎のレベル調査

徳山ダム事業用地内の廃棄物等について

- ・徳山ダム事業用地内の廃棄物等に関する調査の手法、対応方針等を検討することを目的として、「徳山ダム廃棄物対策検討委員会」を平成17年11月16日に設置。
- ・委員による現地視察に引き続き、第1回委員会では、調査の手法等について審議いただき、その結果に基づき、調査に着手したところ。
- ・水機構は、本検討委員会の検討結果を踏まえ、試験湛水開始前に、廃棄物等への対応を完了させることとしている。

(1) 委員の構成

氏名	所属	専門分野
藤縄克之	信州大学工学部 教授	汚染・流動
田中宏明	京都大学大学院 教授	貯水池水質、環境質評価
湯浅 晶	岐阜大学流域圏科学研究センター 教授	水道水質

注) 氏名は五十音 〃は座長

(2) 現地視察の実施状況

- ・委員3名が、徳山ダム事業用地内の廃棄物埋設箇所等を視察。



白谷地区現地視察状況

(3) 第 1 回委員会の主な審議内容

- ・ 現在、対策を実施している白谷、本郷地区以外に、家屋移転時の不要物が埋設されている箇所を7カ所（犬谷、下開田、上開田、戸入、門入、櫛原、塚）把握していることを事務局から報告。
- ・ 調査手法を審議し、埋設範囲及び埋設物の調査や土壌分析等を実施することを確認。
- ・ 検討会のスケジュールとして、試験湛水開始までに廃棄物等の対応が完了するよう進めていくことを確認。



第1回委員会の開催状況

(4) 徳山ダム廃棄物対策検討委員会の進め方

	審議事項
第1回(H17.11)	・ 現地視察、経緯・状況の説明、調査手法の検討、今後のスケジュール
第2回(H18.1)(予定)	・ 調査結果の説明、対応方針の検討
第3回(H18.3)(予定)	・ 処理方法の検討
↓	・ 対応(処理工事等)の実施
第4回(H18.8)(予定)	・ 対応(処理工事等)の結果報告、処理終了確認

徳山ダムモニタリング部会の設置について

- ・「ダム等の管理に係るフォローアップ制度」の一環として、「徳山ダムモニタリング部会」を平成17年11月21日に設置。
- ・第1回部会では、既往調査結果の概要の報告を受け、モニタリング計画(案)について審議。
- ・「ダム等の管理に係るフォローアップ制度」に基づくモニタリング調査は、本部会の意見を踏まえ、試験湛水開始前から管理移行後数年間実施し、フォローアップに移行予定。

(1) 徳山ダムモニタリング部会の設置目的

試験湛水開始前から管理初期段階までの移行期間における環境変化等を詳細に分析・評価するためのモニタリング調査を行うこととしており、この調査の実施及び結果の分析を客観的、科学的に行うため、各分野を専門とする学識者から意見を頂くものである。

(2) 委員の構成

注) 氏名は五十音順 は部会長

氏名	所属	専門分野
佐藤正孝	名古屋女子大学 名誉教授	昆虫類
阿部 學	特定非営利活動法人 日本猛禽類研究機構 (Raptor Japan) 理事長	鳥類 (猛禽類)
駒田格知	名古屋女子大学家政学部 教授	魚類
西條好迪	岐阜大学流域圏科学研究センター 助教授	植物
中村浩志	信州大学教育学部 教授	鳥類
藤田裕一郎	岐阜大学流域圏科学研究センター 教授	河川工学
前田喜四雄	奈良教育大学自然環境教育センター 教授	哺乳類
松井正文	京都大学大学院 教授	両生・は虫類
松尾直規	中部大学工学部 教授	水質

(3) 第1回徳山ダムモニタリング部会の主な審議内容

既往調査結果の概要報告

徳山ダム建設事業等において実施された水環境、動植物、生態系等の調査結果の概要及び徳山ダム建設所が実施した、又は実施を予定している環境保全対策の取り組み状況について説明。

今後実施するモニタリング調査計画(案)の概要について審議し、次のとおり確認した。

- 1) モニタリング調査計画の基本方針については、部会として了解する。なお、モニタリング調査計画の詳細内容については、今後、プロジェクトチームで検討する。
- 2) 試験湛水時のダム下流域における流況の変化を提示すること。
- 3) ワシタカ類調査については、行動圏の変化等、質的な変化を定量的に評価できる手法をプロジェクトで検討すること。
- 4) 水質調査の地点計画について、具体案を検討すること。
- 5) 水鳥の調査地点については、定点の他に船を利用した移動観察調査の実施についても検討すること。また、調査時期についても特に湛水初期の段階に複数回行えるよう留意すること。
- 6) ダム運用後の流水の正常な機能の維持を評価するための調査項目について追加すること。



モニタリング部会の開催状況

揖斐川水源地域ビジョン策定会議について

- ・ 徳山ダム上流域を核とする揖斐川水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための「揖斐川水源地域ビジョン」(仮称)を策定することを目的として、「揖斐川水源地域ビジョン策定会議」を設置し、平成17年10月7日に第1回策定会議を実施。
- ・ 平成17年11月15日に第2回策定会議・現地視察を実施。
- ・ 第3回策定会議は平成17年12月下旬に開催予定。
- ・ 今後、平成17年度内に中間報告、シンポジウムの開催、平成18年度中にビジョン策定予定。

(1) 第2回策定会議・現地視察(平成17年11月15日)実施状況

- 視察場所
- ・ 鶴見地区(歴史民族資料館、藤橋城、徳山ダム建設パビリオン)
 - ・ ダムサイト右岸展望台
 - ・ 丸山地区(徳山会館、旧徳山村本郷地区の眺望)
 - ・ 戸入地区
 - ・ 徳山民俗資料収蔵庫、道の駅「星のふる里ふじはし」等



丸山地区 旧徳山村本郷地区の眺望



戸入地区